

千秋だより 第135号

発行日 2025（令和7）年2月1日

発行者 千秋町連区地域づくり協議会 千秋町佐野字郷西 48 番地（一宮市千秋町出張所内）

電話 28-9010 FAX 76-0099 Web サイト <https://138chiaki.org/>

地域づくり協議会 令和6年度を振り返って

地域づくり協議会 会長 大島 清武

令和6年度は、これまで一部自粛していた行動・行事等を全て復活させ、実施した年となりました。コロナ禍により我慢をした期間が長かった分の反動もあり、各行事に前年度を上回る参加があったことは、各部会がPDCAを行い、新たな計画に活かされた結果だと思えます。加えて、開催にあたっての各協議会・町内会・公民館等の役員皆様のご尽力と町民皆様のご協力のおかげがあったと思えます。ありがとうございました。

今後も町民の皆様が参加して良かったと思われる行事を展開してまいりますので、多くの方の参加をお待ちしています。

また、令和6年は平均気温の上昇や集中豪雨の増加などの異常気象や能登半島や日向灘の大きな地震の発生がありました。そして、初の南海トラフ地震臨時情報が出されるなど大地震の発生が心配されます。こうしたなか、今後も継続して防災訓練を実施する事で、災害発生に備えていきたいと思えます。

来年度も安心して住みやすい千秋町の町づくりに努力していく所存ですので、よろしくお願いいたします。

福祉部会（平子 昌三 老人クラブ連合会 会長）



皆で歩こう会

令和6年は、酷暑でしたが、予定した年間行事をすべて無事に終了することができました。皆様のご協力有り難うございました。

三世代交流事業は、7月の「ラジオ体操」に延べ2,360名の参加、10月の「皆で歩こう会」は108名の参加でした。今年は子どもたちの参加が昨年の4倍になりました。末広大学の講座は予定通り10回開催でき、毎回多くの方に参加いただきました。

今後も各種の行事を予定していますので、ご理解とご協力をお願いします。

高齢者支援部会（安藤 達也 民生委員・児童委員協議会 会長）

令和6年度も千秋町連区において様々な事業が開催されました。10月5日の「敬老会」、11月15日には「ひとり暮らし高齢者の集い」が開催され、高齢者支援部会員である民生委員・児童委員もこれら事業の運営に携わらせていただきました。

相変わらず高齢化が進む中、令和7年1月の一宮市全体の高齢化率は27.5%で、千秋町連区は29.0%といった状況です。高齢者の方々がこの地域で安心・安全に暮らしていただけるよう、今後も高齢者の方々への支援につながる活動を続けてまいります。

地域の皆様には引き続きご理解・ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

地域学習部会（長谷川 武 連区公民館長）

地域学習部は、女性学習部と共に公民館事業を通じ、街角に笑顔が溢れ、住民相互がいつも助け合える明るい千秋町連区となるよう、地域コミュニティの維持、住民の絆づくりに貢献することを目指しています。

今年度は、三大事業のうち、盆踊り大会が第50回、町民運動会が第60回と節目の年となりました。

盆踊り大会は、ちびっこが大好きな曲を多くした効果で、踊りの盛り上がりも素晴らしく、たくさんの人出で賑わいました。

町民運動会は、昨年に引き続き防災訓練と同日の午前中に開催し、参加賞・賞品にちびっこが喜ぶお菓子を新たに採用しました。競技では、最後に「パン食い競走」を取り入れた「障害物競走～パンまでGO!」が参加していただいた皆さんに好評でした。



連区防災訓練(地震体験車)



町民運動会